

2020年度 早稲田大学教員免許更新講習 シラバス

講習名	【8056】映画・ニュースなどの映像を用いて教材を自作する		
担当講師	吉田 雅之（教育・総合科学学術院 専任講師）		
講習方式	対面講習		
教科	英語		
主な受講対象	中学校、高等学校、中等教育学校 英語科教諭		
開講日	2020年8月5日	講習時間	9:30－17:10
認定試験日	2020年8月5日	試験方法	筆記試験
認定試験の際の 持込可否	すべて可		

講習の概要	教科書以外に身近な映像として映画・ドラマ・ニュース・ドキュメンタリーなどが教材になり得る。機材や映像作成法はPCやソフトのバージョンにより異なるため簡単にすませ、本講座ではナマの英語を用いて何をどう教えることが可能か、また数分程度の映像資料で(聴き取りにこだわることなく)授業の補完となるような教材をどう作成すればよいのか、一緒に考え、実作もしていただく。なお公共放送を無許可でウェブ上に投稿すると違法となるので注意されたい。(数ギガ程度の USB を持参のこと)		
講習計画 (時間割)	9:30-10:50 (1 時限 80 分) 教材紹介(文法・語彙・音声・作文) (10 分休憩) 11:00-12:10 (2 時限 70 分) 教材紹介(異文化理解・日英比較) (60 分休憩) 13:10-14:20 (3 時限 70 分) 教材作成(各自がPC教室内で) (10 分休憩) 14:30-16:10(4 時限 100 分) 教材披露(作成したプリントの紹介) (20 分休憩) 16:30-17:10 (認定試験 40 分)		
教科書(受講生 の方に購入、持 参いただくもの)	書 名	出 版 社	価 格
	特に指定しない。プリントを配布する。		
参考文献	書 名	出 版 社	価 格
	映像メディア英語(旧「映画英語」)教育 学会(ATEM)東日本支部監修 『映画英語 授業デザイン集』	(株)フォーイン スクリーン・プレイ 事業部	¥1,800.- (本体価格)
その他			

講師から受講者へのメッセージ

(1) 映画やドラマを丸ごと見せるのではなく、一部分(数分～10 分程度)を資料として使います。英語音声(せりふ)を毎回完璧に聴き取ることを目標とすると、教師も生徒も疲弊してしまう可能性があるので工夫が必要です。キーワードのみに着目させたり、原作との比較をさせたり、内容について意見交換させるなど、多様な映像利用法を考えます。(2) NHK のニュースや各種の二か国語放送ドキュメンタリーを使う際も、日本語版から初めて英語版に移行すれば、身近な情報がどう英訳されているか検証できます。せりふのない場面でさえ、見ることからスタートして英語の発信作業に使えます。(3) 講習はPC教室にて行い、実作作業は Word で作成していただきます。説明は日本語で行います。なお映像を教室で生徒相手に見せるのは構わないのですが、配信すると違法行為になるのでご注意ください。参考資料は USB 経由で配布します。(4) 先生方の教室でPCあるいはDVD、ブルーレイなどを使えることが前提です。ネット環境が揃っていれば、Netflix などの利用も可能でしょう。ただし、映像ソフトやアプリの話はしません。あくまでも映像素材をどう利用して教材にするか、がポイントです。